

SSS-T3 整備用ソフト クイックスタートガイド

重要 ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書を参考にインターフェース(以下:I/F)のアップデートとご利用端末との初期設定を行ってからご使用ください。

1 内容物の確認

※万一、不備がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください

キャリングケース I/F および付属品の持ち運びや保管時に使用します	シガライターケーブル 電源アダプタに接続して使用します ※使用の際は電源アダプタと併用します	ワニ口アダプタ シガライターケーブルに接続して使用します ※使用の際は電源アダプタ、シガライターケーブルと併用します
Surface Go 4 (タブレット) 整備用ソフトをインストールし車両診断を行うときに使用します	電源アダプタ シガライターケーブルおよびワニ口アダプタ接続時に使用します ※OBD 検査時は 使用しないでください	クイックスタートガイド(本書) 整備用ソフト使用時にご確認ください

nanoWIN I/F 内容物

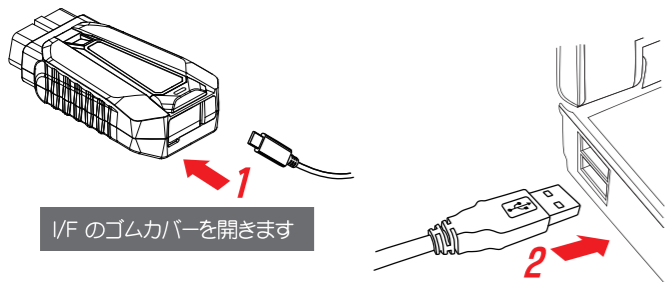
- nanoWIN (I/F)
- ソフトケース
- USB Type-C ケーブル
- Type C OTG アダプタ
- クイックスタートガイド

※リスト内容の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2 アップデート

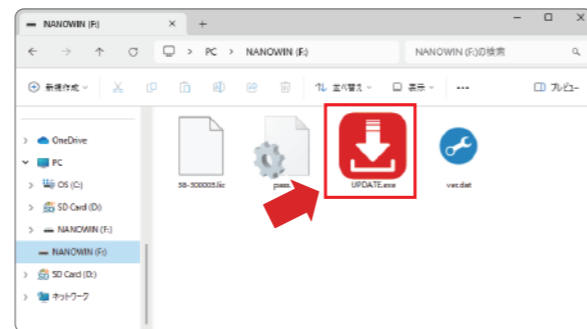
Step1

I/F 内容物のUSBケーブルを使用して、I/F のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。



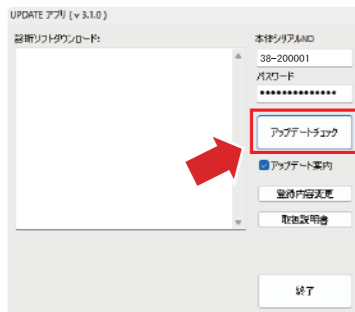
Step2

表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を起動します。



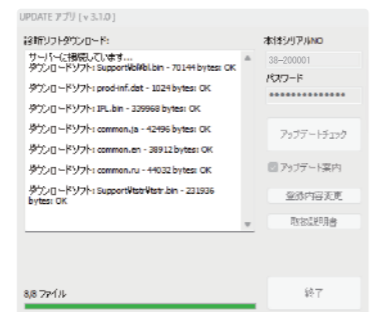
Step3

「UPDATE アプリ」の「アップデートチェック」をクリックします。



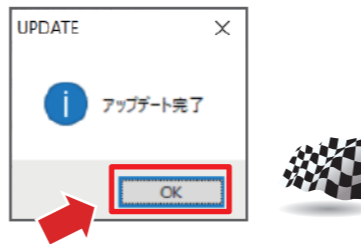
Step4

ダウンロードが開始され、I/F 内に保存されます。



Step5

アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



注意 アップデートを開始後「書き込みできません」のエラーが表示された場合はセキュリティソフトによって外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。また、管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

3 整備用ソフトインストール

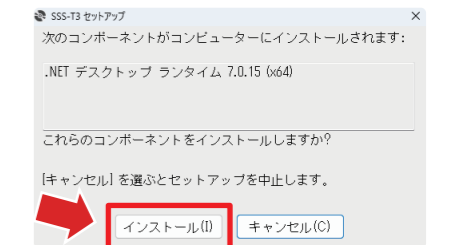
Step1

タブレット側のUSBコネクタにOTGアダプタを接続し、I/F とタブレットを付属のUSBケーブルで接続します。
デバイスドライバから「NANOWIN」→「support」→「cgi」→「win-app」→「MainApp」の順にフォルダを開き、「setup.exe」ファイル(.exeは拡張子)を起動します。
※必ずタブレット側にOTGアダプタを接続してください。本体側にOTGアダプタを接続するとI/Fを認識しません。



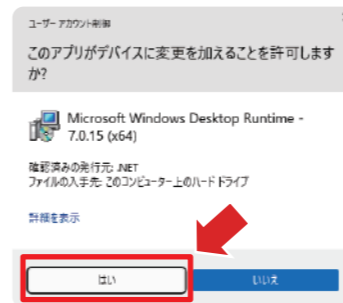
Step2

コンポーネントのインストールを行います。[インストール]をタップします。



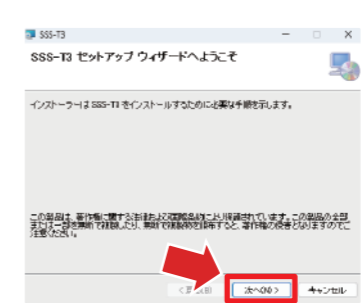
Step3

コンポーネントのインストールが開始します。
※ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をタップして許可してください。



Step4

コンポーネントのインストールが完了すると、整備用ソフトインストーラーが起動します。[次へ]をタップします。



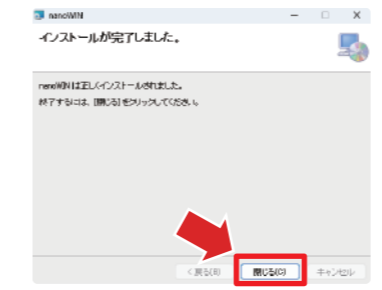
Step5

インストールの確認メッセージが表示されたら「次へ」をタップしてインストールを開始します。
※ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をタップして許可してください。



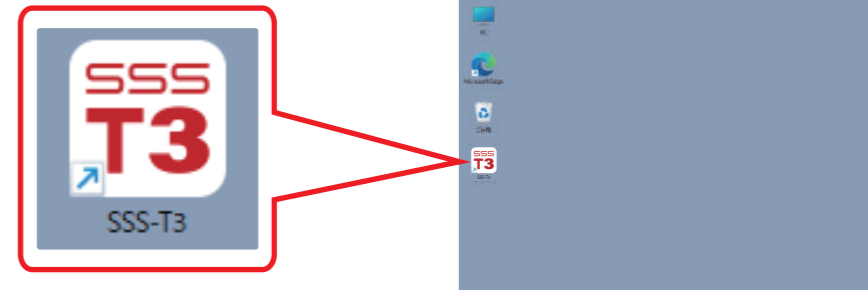
Step6

インストールが完了しました。[閉じる]をタップして終了します。



Step7

インストールが完了するとデスクトップに「SSS-T3」整備用ソフトのショートカットが生成されます。

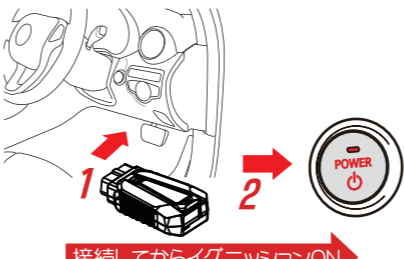


注意 Step2はご使用のパソコンにより異なります。表示されない場合はStep4へ進んでください。

4 I/Fの接続と整備用ソフトの起動

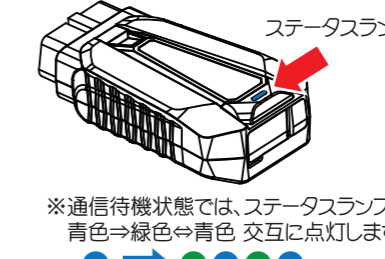
Step1

車両のイグニッション SW が OFF の状態で車両診断コネクタに I/F を接続してからイグニッション SW を ON またはエンジンを始動させます



Step2

ステータスランプが青色に点灯後、『緑色⇄青色』が交互に点灯します。(通信待機状態)



※通信待機状態では、ステータスランプが青色⇄緑色⇄青色 交互に点灯します

Step3

タブレットの整備用ソフト「SSS-T3」を起動します。



5 I/Fのペア設定

※接続設定を行う前にタブレットのBluetooth機能がONになっていることを確認します。

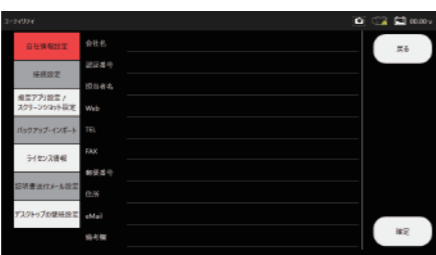
Step1

メインメニュー画面から「ユーティリティ」をタップします。



Step2

「接続設定」をタップします。



Step3

I/Fボックスの検索が開始されます。



Step4

I/Fボックス名欄に使用可能なI/Fのシリアル番号が表示されます。



Step5

ご使用のデバイス名をタップします。(背景色が変わります)



Step6

「I/Fボックスに設定」をタップします。



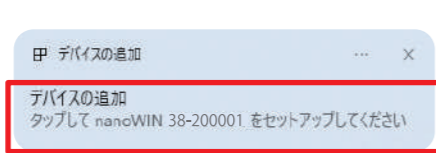
Step7

「ペアリング要求中・・・」ダイアログが表示されペアリングが開始されます。



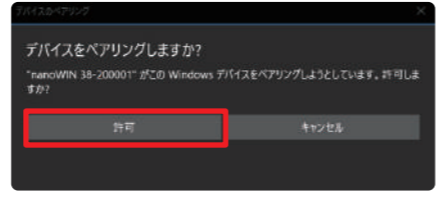
Step8

デバイスの追加の確認ダイアログが表示されます。シリアル番号に間違いがないことを確認して「デバイスの追加」をタップします。



Step9

デバイスのペアリングの確認ダイアログが表示されます。「許可」をタップします。



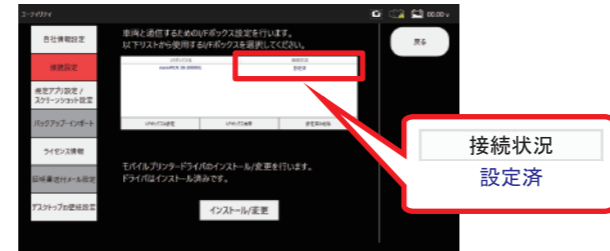
Step10

1. ダイアログに接続成功と表示されたら「閉じる」をタップします。
2. 次に画面右上の「X」をタップし設定画面を閉じます。



Step11

接続状況欄に設定済が表示されたらI/Fの接続設定は完了です。「車両診断」から診断を行える状態になりました。



デバイスが表示されない場合

タスクバーにあるWindowsマーク(スタート)をタップします。次に「設定」アイコンをタップして、「Bluetoothとデバイス」をタップします。「デバイスの追加」をタップします。デバイスを追加するの確認ダイアログが表示されたら、「Bluetooth」をタップします。nanoWIN 38-***** のデバイスが表示されたら「nanoWIN 38-*****」をタップし【デバイスの準備が整いました！】が表示されたら「完了」をタップします。設定画面の右上の「X」アイコンをタップして設定画面を閉じてください。nanoWINアプリを起動し、5. I/Fのペア設定 Step1 から順に進んでアプリにI/Fを設定してください。

- デバイスを追加するのダイアログを表示させても nanoWIN 38-***** が表示されない場合は、nanoWIN (I/F)を車両のOBDポートから一度取りはずし、再度OBDポートに差し込んでください。また、車両のイグニッションSWがONまたはエンジンが始動しているか、確認してください。
- 検索時間が長い場合は、nanoWIN 以外の機器を一旦OFFにしてお試しください。

6 メインメニュー画面解説



ヘッダーアイコン

- 画面のスクリーンショットが保存できます。
- I/Fとの接続状態が表示されます。
- I/Fへ入力される車両のバッテリー電圧を表示します。

メインアイコン

車両診断	各種診断を行います。故障コード読取・消去、データモニタ、アクティブテスト、作業サポートなどを行います。
特殊機能	メンテナンスモード、DPF再生、エーミングを行います。
ADAS CALIBRATION	エーミング証明書発行までの作業を一連の流れで行うことができます。
HV/PHV/EV	HV車やEV車の駆動用バッテリー診断を行います。
更新	I/Fをタブレットに接続してアプリの更新を行います。
保存データ	保存した故障コードやデータモニタ、各種証明書を表示することができます。
EDR	EDR(イベントデータレコーダー)のデータが確認できます。
ユーザーガイド	各種取扱説明書を閲覧できます。
ユーティリティ	自社情報や接続設定などの各種設定を行います。

7 I/F情報の確認

メインメニュー「車両診断」→「診断メニュー」→「I/F情報」の順に進むとシリアル番号、OSバージョン、ダウンロード期間および本体保証期間が確認できます。

本体 ID	
本体シリアル番号:	38-200001
OSバージョン:	1.53 (2024.07.18)
BLバージョン:	4
ダウンロード期間:	2025-02-22
本体保証期間:	2025.02.22

8 取扱説明書のダウンロード

取扱説明書はPDF ファイルでダウンロードして閲覧できます。「Update アプリ」を起動して[取扱説明書]をタップすると、ダウンロードが始まります。任意のフォルダを選択して保存してください。

